

2019年度決算と事業報告

2020年7月20日に開催されましたダスキン健康保険組合第128回組合会において、2019年度決算および事業報告が議決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

健康保険

当健康保険組合の2019年度決算は経常収支で2億3,486万8千円の黒字となりました。保険料率を2018年と同率の10%に据え置き、保険料収入27億2,919万7千円、収入合計は28億6,924万6千円(前年比2.2%増)となりました。

支出においては、年々増加傾向であった保険給付費(医療費)を適正化するため、平成30年から保健事業に注力した結果、保険給付費が2年続けて減少し、13億4,198万8千円(前年比1.8%減 2,400万円減少)となりました。

組合財政に大きな影響を与える高齢者の医療のための納付金は9億1,591万9千円(前年比17.1%増)の割当てが国からあり、少子高齢化が進むなか、高齢者の医療を支えるための支出の増加は今後も健保としての大きな課題です。

決算残金は、2億6,443万1千円を繰り越し、残りは別途積立金7,330万8千円とし将来予想される納付金の増加に対応することとしました。

2019年度には株式会社ダスキンやダスキン健康保険組合をはじめとする19事業所が「健康経営優良法人2020」に認定されています。これからは事業主とのコラボヘルスをさらに推進し、疾病の早期発見と重症化の予防に取り組みます。



決算の基礎数値 (年間平均)	
被保険者数	6,365人
平均標準報酬月額	284,410円
保険料率	10%
事業主	5%
被保険者	5%

介護保険

当健康保険組合の介護保険料率は前年度同様の1.85%を維持しました。2019年度の介護納付金は3億6,663万4千円の割当てがあり、前年度より823万4千円増えましたが、前年度繰越金や国庫補助金からの受け入れなどで収支のバランスを図りました。

収支差引額2,896万6千円は、2020年度へ繰越金2,865万4千円、準備金として31万2千円を積み立てました。

科目	収入決算額
介護保険収入	3億9,019万8千円
繰越金	104万8千円
国庫補助金受入	435万9千円
収入合計	3億9,560万6千円

科目	支出決算額
介護納付金	3億6,663万4千円
介護保険料還付金等	6千円
支出合計	3億6,640万円

決算の基礎数値 (年間平均)	
第2号被保険者数たる被保険者数	4,446人
平均標準報酬月額	306,607円
保険料率	1.85%
事業主	0.925%
被保険者	0.925%

※介護保険料は40歳以上65歳未満の被保険者から徴収されます。

2019年度 ダスキン健康保険組合が取り組んだ保健事業

2019年度、ダスキン健康保険組合は、引き続き第2期データヘルスで計画策定した健康課題を中心に、組合員の皆様一人ひとりの健康維持・増進のため、医療データと健診データを活用し、健康管理や疾病予防重症化予防などの政策に取り組みました。

※データヘルス計画は医療費データや健診情報などのデータ分析に基づいて、PDCAサイクルで効率的・効果的な保健事業を実践するものです。すべての健康保険組合は2015年度からの実施を国から求められています。

▶ 組合員の皆様に、ご自身の健康状態を知っていただくための事業

特定健康診査	節目健診	ファミリー健診（特定健診を含む）	受診勧奨
<対象> 40歳～74歳の被保険者・被保険者配偶者・被扶養者 生活習慣病や前兆であるメタボの早期発見・改善のため事業主とのコラボヘルスにより定期健康診断時に実施。 健保費用で全年齢対象にHbA1c（糖代謝）、腎機能項目（クレアチニン・eGFR）。40歳以上に眼底検査を加えています。 対象者：5,506人／受診者：4,878人	<対象> 40歳～73歳の3歳刻みの該当する被保険者 定期健康診断の項目に、腹部エコー・肺機能検査など人間ドックの検査項目と同等の詳細な項目を追加し、提携医療機関で受診いただきました。 ※がん検査項目は（胸部・肺・胃腸・大腸・婦人科） 対象者：1,530人／受診者：1,245人 ※うち通常の定期健康診断に変更者251人（喪失者除く）	<対象> 被扶養配偶者、40歳以上の被扶養者と任意継続加入者 被扶養配偶者、ならびに40歳以上の被扶養者と、任意継続加入者を対象に実施。疾病の早期発見・治療につなげるため、かかりつけ医紹介を含む受診サポートと、パート先などでの受診結果送付依頼も行いました。 対象者：1,453人／受診者：831人	<対象> 健診結果で重症化リスクのある方 看護師・保健師が医療機関の受診状況を確認の後、電話受診勧奨を実施。他にも生活習慣改善プログラムや二次健診の受診促進勧奨も行いました。 対象者：1,118人 実績：601人
人間ドック受診費用補助	婦人科検診補助	大腸がん郵送自己検診補助	医療費通知/ジェネリック差額通知
<対象> 40以上の加入者のうち希望者 40歳以上の加入者のうち定期健康診断受診5カ月後の希望者を対象に実施。 ●健保負担上限金額25,000円 ●受診対象期間（10月～翌2月） ※人間ドックコース、脳ドックコース、肺ドックコースのいずれか1コース受診者：94人	<対象> 女性被保険者・被扶養配偶者・40歳以上の被扶養者 医療機関及び、事業所での集団婦人科検診で実施。 ●受診対象期間（10月～翌2月） ※検診は年1回のため、節目健診等での受診者は対象外 計画：597人／受診者：520人	<対象> 被保険者・被扶養者の希望者 被保険者・被扶養者の希望者を対象に実施。 ●受診対象期間（10月～翌2月） ※節目健診・人間ドックなど、他の検診プログラムでの受診者は対象外 利用者：146人	<医療費通知対象> 2020年1月～10月の医療費発生の方に年1回発送。 ●発送件数：5,460件（喪失者除く） <ジェネリック差額通知対象> 差額通知（3カ月分で500円以上の差がある方）。年2回実施。 発送件数：791件

▶ 組合員の皆様に、ご自身の健康状態の改善に取り組んでいただくための事業

特定保健指導	Under40/服薬者生活習慣改善プログラム	重症化予防プログラム	前期高齢者保健指導プログラム
<対象> 特定健診の結果、健康リスクが高まる可能性がある方 国の基準に従い、特定健康診査で健康リスクが高まる可能性がある方に、動機づけ支援、または積極的支援を実施。 ※新しいプログラムを導入し、選べるコースを追加。 2018年度分対象者680人 参加者284人 2019年度分対象者706人 申込数292人	<対象> 2019年度の健康診断の結果、40歳未満、服薬者の健康リスクのある方 40歳未満、服薬者の健康リスク対象者の重症化予防のため、専門家による新たな生活習慣改善プログラムを実施。 ●Under40 2018年度分対象者214人／参加者57人 2019年度分対象者229人／申込数44人 ●服薬者指導 2018年度分対象者379人／参加者161人 2019年度分対象者399人／申込数91人	<対象> 健康診断結果に基づき、糖尿病、脳・心疾患リスクの可能性がある方 健診結果に基づき、糖尿病及び脳・心疾患重症化予防のため、専門看護師による保健指導を実施。直接面談、タブレット貸与、スマホ、電話を利用。 ●糖尿病重症化予防 参加者：17人 ●心血管疾患発症予防 参加者：12人 ●オンライン禁煙プログラム 参加者：87人	<対象> 前期高齢者以前の61歳以上の健康リスクのある方 前期高齢者以前の61歳以上の健康リスク対象者に、重症化予防のため、専門家による生活習慣改善プログラムを実施。 ※60歳以下の希望者にも実施。 ●ロコモフレイル予防プログラム 参加者：70人 ●薬局服薬指導 参加者：5人

▶ 組合員の皆様の健康増進にお役立ていただくための事業

kencom	家庭用常備薬の割引軒旋	みんなで「歩活」ウォーキングイベント	スポーツ施設 法人会員
健診結果、医療費情報のチェックができ、一人ひとりに合わせたICT活用の「個人向けポータルサイト」です。 楽しく健康習慣を身に付けるための情報提供を行っています。 医師による健康相談サービス「first call」にも連携しています。 登録者：2,463人	組合員価格で軒旋。郵送、FAX以外にホームページからはいつでも申し込みができます。 郵便・FAX利用者：397人 WEB利用者：114人	健康増進のため、春と夏に実施。毎回参加者が増え、新たなランキング賞を目指しチームで楽しく競っていただきました。 5月：106チーム 561人（うち労働組合37チーム 195人） 11月：113チーム 652人（うち労働組合34チーム 275人）	スポーツクラブ「ルネサンス」の法人会員利用案内を実施。マシントレーニング、スイミング、スタジオメニューなどがあります。

▶ 組合員の皆様に、健康に関する各種情報を提供するための事業

広報誌「健保だより (sante)」 社会保険ガイド「社会保険の知識」	ホームページ Net-IPPO	健康相談	コラボヘルスによる健康経営サポート事業
広報誌「健保だより (sante)」を被保険者には事業者へ、被扶養者用はご自宅に年2回送付。制度変更や予算・決算なども掲載。 新規加入被保険者には「社会保険の知識」も配布。	当健康保険組合のホームページを、インターネットを通じて公開。（スマホやタブレットでも閲覧可能） http://www.duskin-kenpo.or.jp/	24時間・年中無休の電話健康相談を設置。 TEL 0120-860-647 医師と気軽にチャット相談ができる「first call」も、kencomのサイトを通じて気軽に利用できます。 <電話相談> 健康：122件 ころ：70件 ※複数相談含む first call相談：37件	事業主・労働組合と三位一体のコラボヘルスにより、健康経営推進のサポートをしました。 ●健康白書の公表 事業所の働きさんの健康推移と各種取り組みの成果を分析し、目標値の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果を公表。組合員の皆様には広報誌「健保だより (sante)」にてお知らせしています。 ●健康管理システム「すこやかサポート21」活用 事業主が健康診断の検査結果をクラウドシステムで一元管理し、事業主と健保が共有した情報をもとに双方で受診確認、受診勧奨を実施しました。 ●健康経営優良法人認定 健康経営優良法人を事業主が認定できるようサポートしました。 <認定事業所>大規模法人：8事業所 中小規模法人：11事業所

※保健事業の内容は、組合会にて毎年度決定いたします。「インフルエンザ予防接種補助」事業は2018年度をもって終了いたしました。

※「人間ドック受診費用の健保負担上限額」は2020年度は15,000円に変更となりました。